會社側は强硬

職工續々復職を申出づ

局外の仲裁は謝絶

復職職工に就業整理の上作業

其後の藤永田勞働爭議

爭議中の藤永田造船所休業三日明けの十二日は會社は朝來平常の如く門戸を開き職工の通勤沿道には

一、本日の入場者は昨日まで復業申込書を出した方に限る

一、就業整理のため遲刻差支へなきため靜かに行はるべし

一、給料は今回に限り八日迄に付從前の通り九日より三日間休業中は半を支給す

一、給料は來る十六日午前十時より午後三時まで各工場にて支拂ふ但し本人に限る

一、去る八日附出したる當方の手紙の届かゝ方は工場の受付で受取らるべし

との掲示をしたが豫て復職申し出た職工は續々出勤し敷津工場のみでも二百十數名に達したが何分過日來

怠業 休業に數日を經過せることとて直に作業をなす能はず整理の上作業に着手することゝなつて漸次平靜に向ひつゝあるも一方職工側は休業以來出勤簿を設けて日々

出勤 捺印せしめて鋭意結束を固め居り十二日の如きは朝來魚釣に化けて復職々工の首實檢をなしつゝあり、會社側は十二日復職せぬ者は全然會社と

關係 なきもし認め且局外者からは何人の仲裁申込出てあつても一切之に應ぜずと會社最後の回答から一歩も讓せぬ決心であると云ふ

勞働爭議批判大演說會

十三日午後六時より天王寺公會堂に於て友愛會聯合會は藤永田勞働爭議批判演說會を開催する事になつた當日は友愛會會長鈴木文治氏賀川豐彥氏鑛山勞働總同盟會長阪口準三郎氏外數名が各々熱辯を振ふ筈

逃走中の宣傳ビラ撒布の犯人逮捕

一應取調べの上直に檢事局へ護送さる

過激撒文ビラの事件に關聯して豫てより逃走中であつた住友製銅所職工榮次郎は十二日福島署刑事の手に捕へられ午後三時十三分朝日橋署に引渡され樓上の一室に西川警部補の取調を受けて居たが午後三時二十四分に至り檢事局よりの電話に依つて檢事局に護送された

同情金寄贈 藤永田造船所罷業職工に左の如く同情金が寄附された

岸田造船所金壹百圓、東清造船所金壹百圓、小野造船所金五拾圓、仲より金貳百圓

十三日時事

兎も角も蓋を開けた藤永田

復職者僅に三十餘名

職工側は益結束を固めて全く罷業狀態に陷る

開所を發表した藤永田造船所では十二日朝本工場の門前に左の如き

掲示を 出し專ら緩和策に努めて居るが職工側は益々結束を固め全く罷工狀態に陷り朝來朝日倶樂部に集合して罷工破りの警戒に努めて居るが晴天なれば十三日は市内の各神社を參拜すると猶同日兩工場に出勤した職工は(人足は別)僅かに三十餘名に過ぎなかつた夫等の

事情を 慮つた工場主側では萬一を警戒する爲め